

一般撮影

- X-ray photograph -

レントゲンにはこんな装置もあります！

▶ 長尺撮影装置



下肢全体の撮影風景

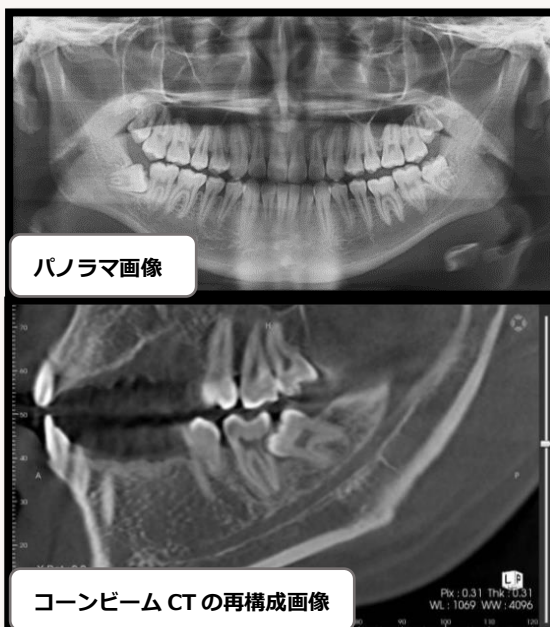


一度で広い範囲を撮影できる装置で、下肢全体や全脊椎の撮影に使用します。
脊柱側弯症や変形性膝関節症の観察、術前の計測に有用です。

▶ 歯科領域・頭部撮影装置



パノラマ撮影風景

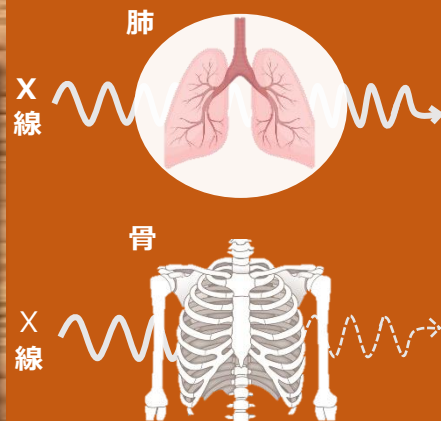


口腔全体を撮影するパノラマ撮影に加え、埋伏歯や不正咬合、インプラント等の治療に有効なコーンビーム(円錐状)CTも撮影できる装置です。顔面骨の形成不全や睡眠時無呼吸症候群の診断・治療に有用な頭部規格撮影も行っています。

レントゲン画像のシロとクロ



レントゲン画像は、上の胸部画像のように白と黒の濃淡で表されます。これは、X線が組織を透過する透過度（通りやすさ）で変化します。透過度には組織の厚さや密度などが関係しています。



例えば空気で満たされている肺は、X線が通りやすいため、黒っぽい画像となり、骨のような密度の高い組織は、X線が通りづらいため白っぽい画像となります。

マンモグラフィと骨密度のパンフレットも一般撮影待合にご用意しております。
ぜひご覧ください。



ご不明・ご心配なことは診療放射線技師にお尋ねください。
中央放射線部ホームページも是非ご覧ください

<https://aichi-med-u-radio.com>

